

兵庫支部健康づくり戦略の策定について



2026年10月26日
全国健康保険協会兵庫支部

1. 兵庫支部 課題シート

	課題
1	◎健診受診率が低い 被保険者の健診受診率としては令和6年度65.6%であり、全国平均（65.5%）並みとなっているが、事業所規模が小規模になるにつれて受診率が下がっており、被保険者数が5人未満の事業所になると健診受診率は34.6%まで落ち込み、全国順位でみた場合には35位という結果になっている。 被扶養者の健診受診率としては令和6年度27.4%であり、全国平均（29.4%）より低く、全国順位でみた場合には35位という結果になっている。
2	◎特定保健指導の実施率が全国平均と比較して低い 被保険者に関しては、健診当日の実施率が全国平均と比較して低い（令和6年度全国平均健診当日面談割合46.0%、兵庫支部健診当日面談割合34.3%、（全国31位））。また、健康宣言事業所の実施率も全国平均と比較して低い（令和6年度全国平均実施率29.7%、兵庫支部実施率22.6%、（全国41位））。
3	◎特定保健指導対象者の減少率が低下している 令和6年度の特定保健指導対象者の減少率は、33.6%（全国14位）と全国平均の33.3%を上回っているものの、令和5年度の減少率33.9%（全国24位）を0.3ポイント下回っている（令和5年度の全国平均：33.7%）。
4	◎「機械器具製造業」「医療業・保健衛生」の1人当たり医療費が全国平均よりも高い 「機械器具製造業」は「メタボ・メタボ予備群」のリスク保有率が高く「腹囲・脂質・中性脂肪・HDL-Cho」「体重10Kg以上増加・要食事習慣改善」のリスク保有率も高い。 「医療業・保健衛生」は「血圧・脂質・中性脂肪」のリスク保有率が高い。
5	◎「新生物」の入院外医療費が高く、特に「気管、気管支及び肺の悪性新生物」が高い 喫煙率は低下傾向にあり全国平均を下回るが、「運輸業（道路貨物運送業・その他の運輸業）」「建設業（総合工事業・職別工事業・設備工事業）」は県内の他の業態よりも喫煙率が高い。

2. 兵庫支部 健康づくり戦略（案）

中期戦略プランを踏まえ、当支部における「支部健康づくり戦略」の構成及び主な取組は以下の通りです。

兵庫支部健康づくり戦略

I) 戦略目標

兵庫県内の地域特性や業態ごとの健康リスクを的確に把握し、健診、特定保健指導、重症化予防、コラボヘルス及びヘルスリテラシーの向上等を通じ、加入者の健康の保持・増進を図るとともに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう取組を進めることにより、健康寿命の延伸を推進し、協会の理念である加入者・事業主の利益の実現を図ります。

II) 戦略概要

2026（令和8）年の健康保険法改正により、協会の責務として、加入者の年齢・性別・健康状態等の特性に応じたきめ細かい予防・健康づくりを適切かつ有効に実施することが明確化されたことを踏まえ、加入者の健康の保持・増進に向けて、第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）に基づき、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、地域・職域の健康課題の解消に向けた取組を進めます。併せて、2024（令和6）年3月に兵庫県が策定した「第3次兵庫県健康づくり推進実施計画」において、「県民一人ひとりが生涯にわたって健康で生き生きとした生活ができる社会の実現」を目指していることを踏まえ、基本目標である「健康寿命（平均自立期間）の延伸」と「圏域間の健康寿命の差の縮小」に取り組めます。

2. 兵庫支部 健康づくり戦略（案）

特に、けんぽアプリの利用を加入者及び事業主等へ促して、協会から働きかける「PUSH型」の支援（一人ひとりの状況に寄り添い、より個人に合わせたサービスを届けることで、加入者の行動変容を促すもの）を拡充するとともに、健康経営の推進を図り、加入者・事業主双方への働きかけを強化することで、健康づくりを総合的に推進します。

また、保健事業の基盤となる健診、特定保健指導、重症化予防の取組に加え、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、地域・職域の特性を踏まえたポピュレーションアプローチ（集団全体に働きかけることで、全体の健康水準を向上させる手法）に積極的に取り組む等、兵庫県における健康増進計画等の実現に向けて、関係機関・団体との連携・協働のもと、地域・職域が一体となった健康づくりを推進します。

さらに、加入者が良質かつ効率的な医療を享受できるよう、兵庫県における地域医療構想や医師確保計画、医療費適正化計画等の実現に向けた取組を推進します。

Ⅲ）3年間の主な取組

《健康の保持・増進》

[個人の特性に応じた支援]

デジタル技術や協会が保有する医療や健診、給付等のデータを活用し、加入者の年齢・性別・健康状態・地域・業態等の特性に応じた適切な支援を拡充します。特に、けんぽアプリを中心とした加入者と直接つながる環境を利用し、健診案内や予約、受診後のフォローアップ等を実施します。また、保健指導等を効果的かつ効率的に実施すべく、対象者が受けやすい環境を整備し、生活習慣の改善と特定保健指導対象者の減少を目指します。

2. 兵庫支部 健康づくり戦略（案）

〔健康経営の推進〕

事業所が健康経営を実践するため、事業所内で健康経営を経営方針として主導し、健康づくりに関するキーパーソンとなる事業主等への働きかけを一層推進するとともに、多くの事業所が自ら従業員等の健康づくりを進め、事業所全体の健康意識を醸成することを目指した各種取組を実施します。

「機械器具製造業」「医療業・保健衛生」等、全国平均より一人当たり医療費や健康リスク保有率が高い業態があることから、業態別に作成した取組事例集や事業所カルテを活用して業態の特性に応じた事業所への健康づくりの働きかけを行います。

自治体や経済団体等と連携して健康宣言事業所数の増加及び健康経営の質の向上を目指した各種取組を実施します。

〔健診の拡充〕

2026（令和8）年度から開始した被保険者に対する若年者への健診や人間ドック健診、2027（令和9）年度から開始する被扶養者に対する健診拡充等における利用状況等を把握し、利用の定着に向けた取組を進め、特に利用率の低い被保険者数10人未満の小規模事業所への案内を強化することで、実施率の向上を図ります。また、健診機関訪問等を実施し、健診団体の施設認定の状況を確認するとともに、健診機関レポートを活用した各種情報提供を行うこと等により、健診の質の向上と精度管理に努めます。

2. 兵庫支部 健康づくり戦略（案）

〔特定保健指導の量・質の向上〕

2026（令和8）年度から人間ドック健診での特定保健指導の実施を必須化したことや、2027（令和9）年度からの被扶養者への健診拡充等に併せて、健診当日の特定保健指導利用機会の拡大等の取組を進めることにより、実施率の向上を図るとともに、事業所への特定保健指導受け入れに関する働きかけを強化することで、特定保健指導の未実施者に対する健康づくり支援を進めます。また、特定保健指導の質の向上を図るべく、効果的で確実な保健師及び管理栄養士の育成に取り組むとともに、健診機関等と適宜有効事例等の情報連携を行います。

〔重症化予防の拡充〕

健診結果から把握した高リスク者に対する受診勧奨を強化するために、これまでの血圧・血糖・脂質・胸部エックス線検査の結果に基づく取組に加え、2027（令和9）年度からは胃がん・大腸がん、乳がん、子宮頸がん検診の結果に基づく受診勧奨も実施し、医療機関への受診状況の把握を通じて、生活習慣病の重症化を防止します。

〔ヘルスリテラシーの向上〕

協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進め、事業所に対するメンタルヘルス対策や女性の健康問題に対するポピュレーションアプローチ、喫煙対策、睡眠対策、学齢期からの健康教育の実施、歯科健診の推進等、地域・職域の特性を踏まえた対応を行うことで、加入者のヘルスリテラシーの向上を図ります。

2. 兵庫支部 健康づくり戦略（案）

《良質かつ効率的な医療の推進》

[医療提供体制の確保・充実に向けた取組]

兵庫県における地域医療構想や医師確保計画等の策定や取組の推進に積極的に参画します。地域の現状や課題を把握し、病床機能の分化や医療機関機能に着目した医療機関の連携・再編・集約化、医療・介護連携の推進、医師偏在の是正等に向けた意見発信を行い、地域における効果的・効率的な医療提供体制の構築に向けて保険者に期待される役割を果たしていきます。

[医療費の適正化]

加入者が質の高い医療を将来にわたり持続可能な形で受けることができるよう、協会が保有する医療や健診、給付等のデータ分析を進めるとともに、上手な医療のかかり方に関する啓発等、医療費の適正化に資する取組を進めます。

バイオ後続品（バイオシミラー）については、データ分析に基づく医療機関への働きかけを通じて使用促進を図ります。また、地域フォーミュラリの導入・運用に向けて、データ分析や他地域の取組状況に関する情報提供等、地域の医療関係者と連携を図ります。さらに、OTC類似薬の薬剤自己負担の見直しを踏まえ、セルフメディケーションの推進に努めます。